

こうふ町 議会だより

秋晴れのもと 江尾地区運動会！

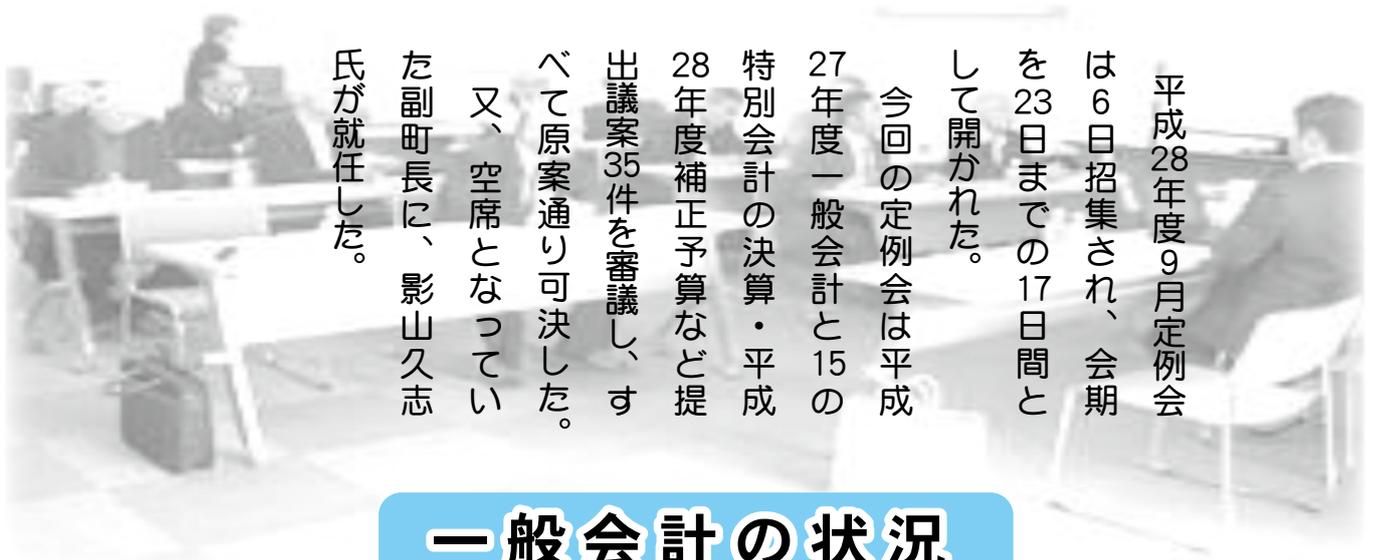


平成27年度決算を認定.....	2P
決算特別委員会参考意見.....	8P
いっぱん質問 町政を問う.....	10P
私のひと言	16P

平成27年度 決算

歳出総額 52億1,849万円を認定

(一般会計 33億8,719万円 特別会計 18億3,130万円)



平成28年度9月定例会は6日招集され、会期を23日までの17日間として開かれた。

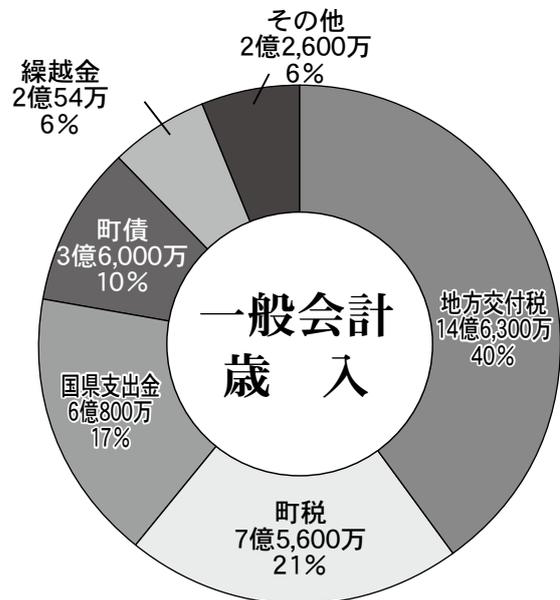
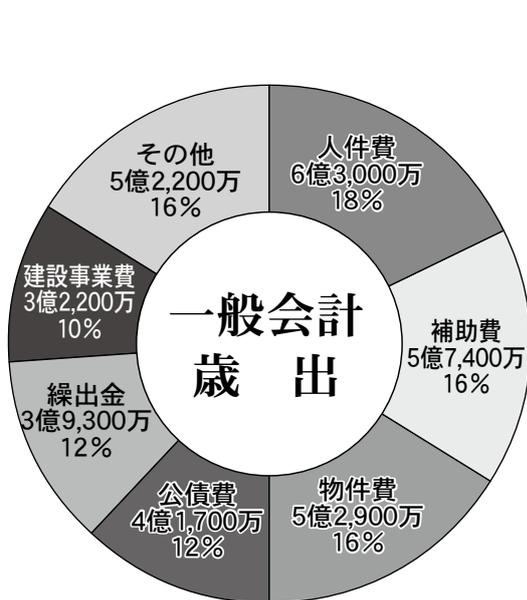
今回の定例会は平成27年度一般会計と15の特別会計の決算・平成28年度補正予算など提出議案35件を審議し、すべて原案通り可決した。又、空席となっていた副町長に、影山久志氏が就任した。

一般会計の状況

平成27年度の一般会計は、前年と比較し6億5千万円の減となった。

この主なものは、前年度の給食センター建設に2億7千万円、道の駅整備事業7,200万円、洲河崎・下安井橋梁工事6,200万円、保育園調理室改修工事3,600万円等工事費の終了によるものである。

基金の状況は、1億4千万円増の12億4千万円となっている。財政状況を示す実質公債費比率は2%減の10.7%と大きく改善した。今後、財政をにらみながら庁舎建設に取り組んで行く時期に来ている。



特別会計(15会計)の状況

平成27年度の特別会計は、2164万円の黒字となっている。しかし、これは一般会計から3億2772万円の繰り入れと前年度繰越金5800万円がある為であり、実際には大きな赤字となっている。

奥大山スキー場の索道事業は、昨年は近年にない雪不足のため一般会計から2750万円を繰り入れ赤字の補てんを行った。

「あやめ」については、約4500万円の赤字となり、平成27年9月議会にて一般会計から繰り入れを行った。平成28年4月から千口ルの里を運営していた「尚仁福祉会」が運営することになったが、安定した運営を期待したい。

(単位：万円)

特別会計	歳入	歳出	収支	繰入金
住宅新築資金貸付事業	131	61	70	0
国民健康保険（事業勘定）	3億8,927	4億1,200	△2,273	1,575
国民健康保険（施設勘定）	2億4,352	2億3,559	793	1,799
介護保険事業（保険事業勘定）	5億7,236	5億4,921	2,316	7,364
介護保険事業（サービス事業勘定）	262	243	19	0
介護老人保健施設	9,069	9,069	0	0
後期高齢者医療	4,912	4,862	50	2,006
索道事業	7,010	7,010	0	2,751
簡易水道事業	1億9,869	1億9,633	236	5,011
農業集落排水事業	1億4,529	1億4,239	289	7,662
林業集落排水事業	667	572	95	473
特定環境保全公共下水事業	6,961	6,753	208	4,131
江尾財産区	316	72	244	0
神奈川財産区	479	413	66	0
米沢財産区	574	523	51	0
合計	18億5,294	18億3,129	2,164	3億2,772

<平成28年度 補正予算>

- ・ 介護老人保健施設あやめ 未処理欠損負担金 7,525万円
- ・ 水工場整備事業 エアーシャワー室新設 550万円
- ・ 防音壁設置工事請負費 福祉センター前の 旧永井宅 300万円
- ・ ふるさと応援基金積立金 1,430万円
- ・ 庁舎建設基金積立金 1,000万円
- ・ 江府町地域支え愛センターの設置及び管理に関する条例
- ・ 社会福祉協議会を指定管理者に指定し、現在入っている建物の管理に対し条例を定めるもの

9月定例会に提出された平成28年度の主な補正予算

昨年度の主な事業

事業名	事業の内容	費用
地域おこし支援事業	若者定住による集落活性化総合対策事業で4世帯（深山口、笠良原、宮市、杉谷）。	1,924万円
観光振興事業	道の駅を拠点とした観光ルート紹介のパンフレットを作成した。	279万円
快適なまちづくり事業	ひな祭りコレクションの開催と町内の買いもの等の利便性向上のため駐車場を整備した。	408万円
買い物福祉サービス支援事業	ひまわり号による買い物サービスと高齢者の見回りを実施(延べ4,467名の見回り)。	924万円
タクシー利用助成金	70歳以上で運転できない方のタクシー代1/2を助成(上限3千円、延べ利用者数2,763人)	248万円
道の駅みちくさ館改修工事	みちくさ館の食材加工場、棚等の改修を行った。	1,133万円
十七夜物語作成事業	十七夜を舞台とした小説「天の蛭」を作成し全戸に配布した。	209万円
小学校工事費	小学校の元ランチルームの屋根改修工事費。	4,533万円
民俗資料館修繕工事	屋根、玄関、空調等老朽化した部分改修を行った。一般の寄付を募集し財源の一部とした。(約300万円集まった)	380万円
江尾診療所備品購入費	レントゲン画像管理システム、電子カルテシステム、X線撮影装置の購入を行った。	2,967万円
三町衛生施設組合	清化園が老朽化した為、隣に新しく汚泥再生処理施設を建設している負担金。平成29年3月完成予定。	8,184万円
集落営農体制強化支援事業	宮市農事組合のトラクター他機械導入を支援するもの。	500万円

31	30	29	25	23	18	9	3	8	1	28	27	26	21	21	19	13	12	8	6	4	3	2	29	25	17	6			
					21					29			22									3	2	29	25	17	6		
西部町村議会議員研修会(日野町・江府町)	江府町国民健康保険運営協議会(江府町)	3町衛生施設組合議会(日南町)	議会運営委員会(江府町)	日野病院組合議会(日野町)	正副議長・常任委員長会(江府町)	西部町村議長会行政調査(福島県)	日野郡町議会議員研修会(江府町)	西部広域行政管理組合臨時会(米子市)	第5回 江府町議会臨時会(江府町)	北栄町行政調査(江府町)	地域高規格江府三次線中央要望(東京)	反核・平和の火リレー(江府町)	西部町村正副議長・局長会(伯耆町)	全国森林環境税創設議員連盟総会(岐阜県)	地域高規格江府三次線要望(広島県)	地域高規格江府三次線総会(広島県)	議会広報特別委員会(江府町)	熊本地震災義援金配分会議(江府町)	西部町村議長会総会(米子市)	議会広報特別委員会(江府町)	3町衛生施設組合総務常任委員会(江府町)	県町村議長会定例会(米子市)	第71回郡民体育大会開会式(江府町)	第62回鳥取県消防操法大会(米子市)	全国ホタル研究会米子大会(米子他)	議会広報特別委員会(江府町)	平和観音戦没者追悼法要(日野町)	議会広報特別委員会(江府町)	議会議事特別委員会(江府町)

6月定例会以降の 主な議会活動報告

監査委員の審査意見



砂原代表監査委員

平成27年度江府町決算監査に伴う行財政の実態と問題点を総括いたします。

財政状況を地方公共団体の財政の健全化に関する法律による健全化指標で見ると実質公債費比率は、平成20年度22・8%、平成27年度10・7%、将来負担比率も平成20年度17・3・6%から平成27年度63・2%と毎年徐々に改善しています。

今、地方公共団体を取り巻く問題点は①少子高齢化に伴う人口減少②社会保障費の増大③インフラ資産・公共施設の老朽化と言われ

ています。江府町もこの3点の問題解決が重要です。

27年度から地方創生関連の消費喚起・生活支援事業、地方創生先行型事業に取り組みました。「人口ビジョン」達成のための「総合戦略」の目標実現に向けた具体的施策の着実な推進、効果検証をお願いいたします。

インフラ資産・公共施設の老朽化問題は今後の江府町財政に大きく影響を与えることであり、新規建設、現施設の有効性・必要性を見直し、計画的に取り組み願います。

町民の皆さんと安全・安心・健康に暮らせる、自己実現のできる、夢のある町づくり、町民と行政がお互いに「自助、互助、扶助」の関係をもち、町民の

目線でのまちづくりを進めていただくことを望みます。

留意事項

- (1) 庁舎建設は計画的に行われたい。
- (2) 公営企業会計研修を検討されたい。
- (3) 買物・福祉サービス支援委託について検討されたい。
- (4) 奥大山農業公社を再々度検討されたい。



新しいひまわり号出発式（貝田にて）

庁舎等調査特別委員会

築60年を超えた庁舎について実際に必要とする面積を国交省職員基準面積等各種資料等で検討した。

◎庁舎建設プロジェクトチームを進める。

◎各種補助金等資金の調査を進める。

◎JA江府支所も候補の一つとする。

◎防災の拠点となるよう進める。

庁舎は江府町の町づくりの拠点となります。しっかりと検討を重ね、町民の皆さんに情報提供をしていきます。

目野病院組合議会報告

平成27年度決算について承認された。

◎櫃田院長が博愛病院の院長として9月末で転勤されます。

◎孝田副院長が10月1日より目野病院院長に変わります。

第2回日野町江府町日南町衛生施設組合議会報告

『平成27年度決算認定』		「主な歳入」	
歳入総額：520,987千円	分担金及び負担金：376,229千円	国庫支出金	131,372千円
歳出総額：508,374千円	繰越金	9,897千円	
差引残高：12,613千円			

※残高は次年度に繰り越されます。

《各町負担内訳》		「主な歳出」	
日野町 127,614千円	総務費	11,366千円	
江府町 118,048千円	衛生費	495,439千円	
日南町 130,572千円	公債費	1,286千円	

◎決算は承認可決された。

決算の審査

一般会計

Q 平成28年度の基金積立の予定はあるのか。

A 平成27年度の繰越金が大幅にありま
すので、余裕があれば基金積立を行いたい。

Q 交通指導員等の待遇について、改善の余地は。

A 報酬は他町のものも参考にして対応した
らうと思う。

Q 選挙権が18才以上に移行した結果は。

A 選挙権を有した者は56名で投票率は50%をきりました。

Q 地方創生の検討会メンバーの懇談会の構想は。

A 店舗や移動販売車
においての買い物
状況及び服装の変化をチ
ェックしている。

A 今回の段階は無理か
もしれないが、検
討したい。

Q 関西交流会参加人員が近年減少気味
だが。

A 予算面も含め目標
設定の練り直しを
検討します。

Q 空き家調査につい
ては集落の世話役
さんにはしっかりと根廻し
を。

A 極力より良い対応
をしていきたいと
思います。

Q 高齢者見守り対象
者の状況は。

A 店舗や移動販売車
においての買い物
状況及び服装の変化をチ
ェックしている。

Q 牛の購入について
補助の拡大を望む
が。

A 全国共進会も控え
ており、補助事業
にのれば補正で対応した
い。

Q ナラ枯れ被害の全
国的な状況は。

A 全国的には下火だ
が、県では東部か
ら西部に向けて進行して
いる。

Q 合併処理施設の未
整備状況は。

A 60%完了です。栗
尾集落は未整備・
大河原集落の一部と他若
干。
Q 地籍調査の待機集
落は。
A 平成31年まで満杯
状態です。
Q 成人式の開催時期
や服装は参加しや
すいように改善すべき
は。
A 今一度協議して検
討したいと思いま
す。



野菜がお待ちしています（道の駅 みちくさ）

特別会計

住宅新築資金等 貸付事業

Q 滞納者に対し訪問
等による回収業務
をしているが、回収状況は？

A 個々の状況に応じ
て、回収に努めて
います。

Q 国保税滞納状況は？

A 固定化しているの
で状況に応じて対
応したい。

Q 平成30年度から国
民健康保険が県下
一本化になるが、基金の
取り扱いには？

A あくまでも江府町
の基金として残り
ます。

Q 脳卒中が増加して
いるがその要因は？

A 若年層が食生活の
乱れや喫煙等の要
因で退職後発症する傾向
にあると考えられる。

国民健康保険 （施設勘定）

Q 江尾診療所全体で
収益が減少してい
るがその内容は？

A 特に歯科の患者数
が減少しているた
め。

Q 電子カルテの導入
される効果は？

A 電子カルテが導入
されれば事務の改
善になります。

介護保険事業

Q 町内で介護を必要
とされる人数は？

A 平成27年度296
人、要支援66名、
要介護230名、内74名
が施設入所。現在、江美
の里、あやめとも満床、
待機者61名です。

Q 介護予防事業の取
り組みは？

索道事業特別会計

Q 第一リフトがかな
り老朽化している
が安全面で不安はないか。

A 一昨年、オーバー
ホールしている。

簡易水道事業特別会計

Q 俣野地区の新水源
の必要性は。

A 上水道の安定供給
のため。



俣野新水源ポーリング

一般会計決算特別委員会

参考意見

一般会計

江府町の平成27年度一般会計決算は36億7498万円であり、前年対比87%となっております。また平成27年決算における実質公債費比率は10・7%となり、平成26年度より更に2%も改善され、早期健全化基準とされる25%を相当下回っております。

地方創生の総合戦略をしっかりと構築しながら、「3000人の楽しい町」づくりに向けて、行政・議会・町民が一体となって住民の福祉の向上実現のためにさらに確かな財政運営をしっかりと傾注されたい。

総務課

消防の第3分団が3名増員になったが、いずれも全体としては役場職員以外なので、研修会などを実施されて是非とも役場女子職員の入団も検討されたい。

企画情報課

ホームページに江府町が強調している保育料の無償化や若者の定住促進の項目を前面に出してアピールされたい。

住民課

安心・安全の高齢者タクシーになるように取り組まれない。

奥大山まちづくり推進課

観光協会や道の駅スタッフと連携して、江府町

のイメージアップを図りたい。

福祉保健課

高齢者の見守りは大変な業務であります。対象者に対する隙間のない支援をして頂きたい。

農業委員会

耕作放棄地の面積が増加しており、再生可能な農地の利用意向調査をし、対応してほしい。



レストラン ラ・スプーン (道の駅)

農林産業課

江府町の米のブランド化を高め、食味値90以上の高品位な米の生産指導に努力されたい。

教育振興課

不登校・いじめの児童生徒に対して、意識の共通化を指導の中心にして対応されたい。

社会教育課

青年交流事業（婚活）は移住・定住につながるので各課横断的に情報を共有して、事業展開をされたい。

特別会計決算特別委員会 参考意見

特別会計

住宅新築資金等 貸付事業特別会計

貸付金滞納者に対しては毎月訪問による納付依頼をしているが引き続き努力されたい。

国民健康保険特別 会計（事業勘定）

保険給付費が増加傾向にあるが件数減に対し入院費が増加しているとのこと、住民検診の受診率を上げる等の対応策を検討されたい。

国民健康保険特別 会計（施設勘定）

高額な医療機器の老朽化による更新時期が来ているとのこと。計画的に実施されたい。診療件数が減少している。人口減の影響もあると考えられるが年齢別に動向調査を

実施されたい。

介護保険事業 特別会計

介護予防事業が平成27年度より保険法が改正になっていよいよ平成28年度から本格的に取り組みが始まった。町内介護施設等も活用してしっかりとした事業展開をしていただきたい。

又、入所の待機者もあるので実態を調べ対応してほしい。

索道事業特別会計

① 本年は雪不足のため営業日数が大幅短縮され休業補償を手当てしたとのこと。次年度の職員確保のためにも安心して勤務していただけるよう職員確保に努力されたい。
② リフト、圧雪車等メンテを実施し安心、安全、そして快適なスキー場運営に努力されたい。

簡易水道事業 特別会計

① パイロットマンの認知度をもっと上げて効果的な事業展開をされたい。
② 俣野第二共同の改良事業の早期実現を望む。

農業集落排水事業 特別会計

川筋地区農業集落排水と江尾地区公共下水の接続による多額の経費減が見込まれる。確実な事業の推進を図られたい。



エバーランド奥大山スキー場

町政ここを問う

一般質問は5人の議員が行い、町長の方針をたどした



上原 二郎

新町長の 目指す方向は

者にも助成をする時期に
来ていると考えますが町
長の見解は。

問

地元若者にも
助成を

答

実態を把握し
検討したい

質問 「3000人の楽しい町」の大きな目標を掲げられました。現在の江府町の状況は、出生者数と死亡者数の差である自然減が50人ぐらいあり、転入と転出の差である社会減も30人前後となっています。今後、町長はどのようにしてこの現状を変えていかれるのか、具体的な方策について伺います。UJターンの若者に対しては住宅助成制度がありますが、地元生まれ育ちここに住んでいるものには、助成制度はありません。地元の若

町長答弁

3000人の町の頭に、「楽しい」という言葉をつけています。これが大きな意味を持つと考えています。ここに住んでいる人が江府町は良いな、楽しい町だと感じ生き生きと暮らしていけるところに活路があると考えています。今行っている色々な取り組みを活かし、今後もっと夢が描ける様にしたい。

の町の方策の一つとして
検討して行きたい。

問

庁舎建設は

答

一から積み上げ
検討したい

質問 現在の役場は、築60年たち耐震になっておらず大きな課題であります。町村合併の当時の経緯から、JA江府支所の隣に防災情報センターを建設し、庁舎建設はこの建物とJA江府支所の利用という考え方に縛られていたように感じています。近年、100年に一度というような災害が発生しており江府町においても何時その自然の猛威が襲

町長答弁

防災拠点としての庁舎

ってくるか分かりません。庁舎は、住民サービスを提供すると共に、住民を守る重要な施設であります。将来に禍根を残すことの無いよう十分議論し建設に当たる必要があると思います。庁舎建設に対する町長の見解を伺います。

の役割は、極めて重要です。又、住民サービスの向上からも、職員間の情報共有や、維持管理の経費面からも1ヶ所に統合すべきと考えています。JA江府支所との今までの経緯は踏まえ、役場庁舎の機能として何が必要か、その為の経費はどうなるのかも一度積み上げ、議会や住民の皆さんに提示しそのお考えを聞き検討して行きたい。



築60年の現庁舎

3,000人の町作りにおける役場機能は？



三好 晋也

問	役場機能の現状は
答	まだまだ十分ではない

質問 庁舎内での就任挨拶において職員に対し、3つの事を実践してもらいたいと述べられている。「住民目線」「当事者意識」そして「挑戦」これに対し現状をどのように捉えているのか。
また、そのための人材育成について考えを伺う。

町長答弁

庁内会で職員に対していろいろ申し上げた、「住民目線」「当事者意識」「挑戦」。実は、副町長として3年間、江府町役場に勤務した経験からも

自分自身の事も含め本当にできているかと言われると、これから頑張らなければいけないと思っている。本当に住民目線、住民の方の声を聴いてやっているのか、自分の都合でやっていないかとか反省するところもあるんじゃないだろうかと選挙で回ってみて改めて認識させられたものです。ですのでこれをあえてこのたびも言わせて頂いた。当事者意識についても、やはり役所ということもあって、結構、縦割りというか、自分の職場でのことしか考えていないということが多くみられます。ですから江府町役場はこんな小さな役場です。それを破って何とか一つになって向かっていきたく

問	デマンドバスの導入は
答	検討したい

質問 町道を走ることのできるデマンドバスを導入する考えはないか。スクールバス事業、デマンドバス事業、外出支援サービス事業等、国道や県道を走るだけの町営バスだけでは、高齢者の生活の足としては不十分だと思ふ。また、江府小学校に直接スクールバスが乗り入れることが出来れば、児童生徒の自宅付近から学校まで安心だということになるが。

い。現状はまだまだです。挑戦とはこれもまだまだです。先ほどから、3000人の話が出ていますが、そういったちよつと高いハードルを乗り越えて、多少難しくても今までの殻を破ってそれを目指していきたい。

町長答弁

安心・安全・健康に暮らせる町ということはそれを実現するためには町民の移動手段の確保というのは最重要課題とされている。実際、町営バスの運行と合わせてタクシ―助成券で移動手段の確保をやっている。今一度、デマンドバスも含め、タクシ―の使い方などを合わせて検討していきたい。また、地域公共交通会議もあるのでそういう機関とも協議しながら、町民の移動手段の確保について検討してまいります。



スクールバス（あやめ前）

輝いて楽しい町づくり！



三輪 英男

問	3000人の キーワードは
答	移住・定住 を積極的に

質問 白石新町長のキャチフレーズ「3000人の楽しい町」づくりの方向性は。

町長答弁

素晴らしい自然環境、これは江府町の宝です。これらを生かした農産品・特産品を連携して、西部地域が一体となって、江府町に経済効果を波及させ、あわせて、人口増に繋がる移住・定住を積極的に取り組みたい。

問	公営企業化の メリットは
答	役場に左右さ れない運営

質問 江尾診療所の公営企業化を提唱されておられますが、具体的にはどう変わるのか。

町長答弁

結論はもう少し先と考えております。しかし狙いは3点です。①職員の身分保証、②医師・看護師・事務スタッフの安定化、③経営を機動的に柔軟に対応できることです。

問	農業公社の存 亡は如何に
答	抜本的改革 の決断

質問 一般財団法人奥大山農業公社は永年その存在意義を問われているが、抜本的目つ、即効性ある決断をどのような切り口で対応されるのか伺う。

町長答弁

江府町の中心的な産業はやはり農業であります。集落営農の推進、担い手の確保をするなかで小規模な農家を支えて行くのが公社の意義と思っています。専従リーダー不在も含め、公社全体の体制を様々な方からご意見を頂戴して抜本的な決断を下したいと思えます。

問	ワゴン車によ るサービスは
答	選挙に限らず 今後検討

質問 先の参議院選挙において、浜田市が全国初のワゴン車による「移動期日前投票所」を導入し有権者から大変好評との事、本町では如何ですか。

町長答弁

色々議論のあるところですが。基本的には選挙の専権事項ですので、個人的な見解として、投票しやすい環境を整えるということは大切な事と認識しています。選挙にとらわれず、住民の方のサービスという点について、選挙管理委員会とも話をしてみたいと思えます。



町民の健康の拠点

農業立町への夢は？



長岡 邦一

問	本町農業の現状と課題・今後は
答	高品質のブランド米を全国に発信

質問 ご当選おめでとうございませう。しかし、無投票ということ、具体的な政策など町民の方々に訴えることが少なかつたのではないかと思います。選挙前には全戸回られるようなご意見を聞かれ、それを政策にしたいとのことですが。

私の方からは農業について、とりわけ本町の水田農業の現状についてどのように捉えておられるのか、そしてあるとしたら課題はどのようなことと考えておられるのか伺

う。
私は農業（水田）が立ち行かなくなれば即集落の崩壊につながると考えます。

昭和44年から45年間にわたって続いてきた生産調整の配分を国は、2年後になくすとしています。もちろん一反7500円の価格政策もなくなる。とアナウンスされていますが、では本町の農業を持続可能にするにはどうするか将来展望を伺う。

町長答弁

日本の農政を今の状態にしたのはやはり国の政策なのかなと私は感じております。

本町の農産物の売上は鳥取西部農協において平成27年度は約2億8千万

円うち58%が米です。米価の下落により農業経営は厳しくなっており、また高齢化が進んで農地の保全本も困難になっているということが、町内を回らせていただいて痛切に感じました。

将来展望はと言いますと、やはり主力は米だと思えます。

平成25年度から奥大山農業活性化プランを定め、米のブランド化に取り組んでいます。

その中でもさらに品質の高い食味値や味度値が90以上の米生産で現在8.3haを将来は60haを目指しています。

さらに環境王国に認定されており、自然環境の良さを前面に出し、手つかずの自然から生まれるおいしい水、その水の恵みを受けたいしい米や農産物を全国に対し強力に情報発信したいと思えます。



奥大山プレミアム特別栽培米研究会のみなさん

町財政の現状認識は



竹茂 幹根

問	財政の健全化対策は
答	無駄を省き節約が原点

質問 確立した財政を定義すれば、行政が事業や事物を達成し調達する中で、財政上で心配のない状態にすることである。健全な財政とは、負債や債務の無い状態であり、執務執行の努力により負債を減らすことが財政の健全化と認識している。町長は副町長として3年間財政執行に携われたのですが財政確立、財政健全化に対し町長として改めて江府町の現状をどのように認識しているか伺う。

町長答弁

財政の確立、健全化の定義という事ですが負債・債務の無い事と言われたが、必ずしもイコールではなく大きな事業を行えば起債が必要です。不要不急の事業は避け、無駄は排除し節約していくことが財政確立・健全化の原点と考えている。副町長として就任した平成16年には、負債が102億円あったものが平成27年には71億円となり31億円も減っており、財政健全化は進んできていると見ています。



役場仕事風景

質問 監査報告では、平成27年末の起債残高は71億円あり、引き続き健全化に取り組み願いたいと指摘されている。

の確立のための努力が必要と思うが町長の見解を伺う。

町長答弁 「不要不急」の基本はその通りですが、住民の思いや意見、今までの経緯などがありすべて切り捨てるという事ではなく

問	町有林の買収は
答	参画していません

質問 この質問は5度目ですがそれほどこの事業は納得がいけない上に問題だと認識している。「さかや」の社長が来庁し交渉をもち仮契約を交わしたが当時、新町長は、副町長として「さかや」との交渉にどうかかわったか経緯を伺う。

町長答弁

「さかや」との林地購入について副町長として当時その交渉の場にどう参画していたかという事ですが、交渉には私は参画しておりません。以上です。

るべき事業はあります。庁舎もお金のかかる事業ですが住民の安全・安心を考えると踏み切る時が来ると考えます。それを踏まえて起債が増えるからダメという話はないと申し添えます。

江府町副町長に影山久志氏が

任命される

江府町教育委員に前田恵子氏再任
賀本幹穂氏が新しく任命された

9月定例会で副町長不在でしたが、前教育長でした影山久志氏が任命され、また教育委員の任期が満期を迎え、前田恵子氏の再任と賀本幹穂氏が任命され全員一致で議会が同意した。皆さんの活躍を期待します。



副町長
影山 久志氏



教育委員
前田 恵子氏



教育委員
賀本 幹穂氏

第7回臨時会

(平成28年10月12日)

8月以降空席になっていた江府町教育長に江府中学校校長富田敦司氏が任命され全員一致で議会が同意した。江府町の教育行政振興に尽力されるよう期待します。



教育長
富田 敦司氏

補正予算

J A江府支所の不動産鑑定費32万円、子供の国保育園の修理費等100万円が承認した。

総務経済常任委員長他役職の変更

田中議員の死去にともない、議会選出役員を選出しました。

- ◎総務経済常任委員長 森田 智
- ◎議会運営委員会 上原 二郎
- ◎3町衛生施設組合議会議員 上原 二郎
- ◎表彰審議会委員 森田 智
- ◎集会所運営審議会委員 三輪 英男
- ◎江府町部落差別撤廃とあらゆる差別をなくする審議会委員 三輪 英男

追悼の言葉



この議場で、私が田中議員に追悼の言葉を申し上げることに成るとは神のみの知り得ることであり、私にとつては無念これに過ぐるものはありません。

田中君の訃報が伝えられた時、あまりにも突然で信じることが出来ませんでした。何かの間違いであろうと強い疑念を持たざるを得ませんでした。

しかし、今はもうあの温容に再び接することが出来ないことは痛恨の極みであり、ここに謹んで哀悼の言葉を申し上げます。

田中議員は昭和22年12月12日に、江府町宮市原で生を受けられ、米沢小学校、江府中学校、根

高等学校を卒業後、米子市の西部生協に就職されました。

持前の情熱と、バイタリティーあふれる行動力で、メキメキと頭角を表し、22才より政治活動に参加し、その活躍が認められて、野坂衆議員議員の公設秘書に抜擢されました。

東京での秘書生活で政治のイロハを勉強され、又いろいろな人との交流を深められ多くの人脉を築かれました。

そして、平成元年7月におこなわれた、江府町議会議員の選挙において41歳の若さで見事当選されました。

町民の皆さんの立場に立った政治、常に弱者の立場に立った政治を信条として、今日まで7期連続当選し、町政の発展に貢献されました。

田中議員の活動分野は財政から教育、農業、保

健、福祉、医療と多岐にわたりその見識は抜群であり、発言も極めて説得力のあるもので、特に弁舌さわやかな話術はカンケイ節と言われ多くの人を引き付けるものがありました。

少子高齢化が進み、地方創生が叫ばれる今日、田中議員を失ったことは非常に残念で、江府町にとつて大きな痛手であり、今、幽明境を異にし、再びこの議場で相まみえる事が許されないとは、世の無常が身にしみ、万感胸に迫るものがあります。

田中議員のご功績とご遺徳を偲び、謹んで哀悼の意を表しご冥福をお祈り申し上げますとともに、残された私たちは江府町の発展の為、全力を傾注することをあ誓い申し上げます。

平成28年9月7日
江府町議会議員
川端 雄勇

ひと言



江尾本四
前川 理女

山は青き故郷 水は清き故郷

一昨年、40数年ぶりに生まれ育った江府町に生活の拠点を移しました。そこで感じたことを書いてみます。まず、とにかく水がいいこと。水がいいからお米もおいしい。水道の水もおいしい。真夏の炎天下、蛇口から冷たい水が出てくるだけで気分がアップします。近所の方が、「この水があるからここから離れられない」と話されるのも納得です。

船谷川と日野川の濁流のぶつかり合いの凄さ等々。今、私はこの水をありがたがるだけでなく、後世に引き継がなくてはならないと感じています。子孫のために、水や空気、そして心もそうですが見えないものにも気を配り、守る覚悟が必要と考えます。

最近マスコミが「老後破産」というワードで不安を煽っています。ご多分にもれず私も心配になっていました。でもそれは都会の話です。この町で暮らすのなら、そんな心配は無用ではないでしょうか。ここには何よりもぜいたくな水と空気が、そして助け合える人々がいます。それを大切に暮らしていけばそれでいいと感じています。

「国民総幸福量」という独特の指標を掲げ、世界一しあわせな国として注目を集めているプータンのように、ここはそれができる町だと思えます。そんなぜいたくなこの町で、楽しんで年をとりたいたいものです。上機嫌な年寄りでいつぱいの江府町で、日々の生活を丁寧に楽しんでいきたいと思っています。



山陰合同銀行江府出張所長
鶴田 佳文

江府町に 赴任して

今年の8月に山陰合同銀行江府出張所に赴任して2ヶ月が過ぎました。前任者からの最初の引継ぎ業務が町長選挙で白石町長の街頭演説を拝聴するところから出発させて頂きました。白石町長が掲げておられる「3000人の楽しい町づくり」に向けた強い決意が伝わってきて私自身もその楽しい町の一員としての役に立ちたいと思ったのが最初でした。

平日にもかかわらず30名の踊り子隊を編成することができ、楽しく江尾十七夜を過ごすことができました。

江府町に赴任して感じたことは地域の特色を徹底して追求する意識が高いということ。奥大山「水」「江尾十七夜」をキーワードに観光、農業、産業までよく考えて活動されていると思います。私自身これから弊行が地域のお役に立てることは何だろうと試行錯誤しながら江府の地で働いていきたいと思えます。

この度弊行江府支店は江府出張所に店舗種類の変更をさせて頂きました。店舗ネットワークの維持により、地元の皆様へのサービスを拡充する施策の一環です。ご理解をいただければ幸いです。今後より一層、地域のお役に立てるよう行員一同張り切っていますので皆様のご支援をよろしくお願いいたします。



▼盆トンボが飛び出したな！と思っている内に稲刈りも終わり、急に朝晩冷え込んできました。あの暑かった夏が嘘のようで、季節の移り変わりの早さを感じます。

▼7月には、竹内町長が退任され白石町長が就任されました。これからの手腕に期待します。8月には田中議員が急逝されました。ご冥福をお祈りすると共に世の無常を感じます。

▼江府町議会も、任期1年となりました。分かりやすい議会だよりを目指して今後も努力してまいります。

上原

議会広報調査特別委員会

- 委員長 上原 二郎
- 副委員長 三好 晋也
- 委員 川端 雄勇
- 委員 三輪 英男
- 委員 川上 富夫